

平成31年度（2019年度）事業計画

（平成31年 4月 1日～令和2年 3月31日）

平成30年度に引き続き、ダム工学研究の向上発展を図ることを目的とし、以下の事業を実施する。

1. 委員会等活動

- 1) 通常総会
- 2) 理事会
- 3) 評議委員会
- 4) 委員会
 - ・企画運営委員会
 - ・編集委員会
 - ・調査研究委員会
 - ・災害調査委員会
 - ・表彰委員会
 - ・選考委員会
 - ・優秀発表賞選考委員会
 - ・技術開発賞選考委員会の各委員会を開催する。

2. 行事活動

- | | | |
|---|----|-----------------|
| 1) 学術講演会 | 1回 | |
| 2) 研究発表会 | 1回 | } 2)、4) 合同開催の予定 |
| 3) 現地見学会 | 1回 | |
| 4) 講習会 | 1回 | |
| 5) ダム工学会賞 表彰 | 1回 | |
| 6) 活性化関連活動 | | |
| ・地域活動 | | |
| ・若手の会（語りべの会） | | |
| ・ダムなんでも相談室 | | |
| ・“with Dam★Night 東京、東北、中部・近畿、中国・四国、九州で開催。 | | |

3. 出版・広報活動

1) 学会誌「ダム工学」

VOL. 29 No.2 2019年 6月 発行予定 (2019年 6月15日号)

VOL. 29 No.3 2019年 9月 発行予定 (2019年 9月15日号)

VOL. 29 No.4 2019年12月 発行予定 (2019年12月15日号)

VOL. 30 No.1 2020年 3月 発行予定 (2020年 3月15日号)

2) ダム工学会ホームページの運用、メルマガ通信の配信

3) 戦略的・効果的な広報の実施

ダム工学会ホームページを活用し、一般の方にダムに関する見学会等のイベント情報をはじめ、ダムの役割などの知識の提供を行う。また、活性化関連活動を通じてダムに関する戦略的・効果的な広報を実施する。

4. 研究活動

1)～7)の研究部会の活動と共に、交流研究事業に取り組む。

4. 1 研究部会 平成31年度（2019年度）活動内容

1) コンクリートダム研究部会

新規研究テーマとして、ダム技術史研究部会での活動状況やC I Mの動向などを考慮し、「ダム管理期間としての第IV期設定について」を検討する。

2) フィルダム研究部会

新規研究テーマとして、「我が国のフィルダムの技術的変遷」について、ダム形式、新規建設・再開発、適用した設計基準、及び施工方法などから代表ダムを選定して、検討を進める。

3) 地質・基礎研究部会

平成30年度に引き続き、「ダム（堤体、貯水池周辺斜面）の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について討議し、報文としてとりまとめる。あわせて、新規テーマの検討を進める。

4) 維持管理研究部会

「ダム貯水池の堆砂の有効利用等に関する研究」について事例収集や現地見学を行い、平成31年度までの研究成果をとりまとめ（予定）、「ダム工学」の部会報告用原稿を作成する。

5) 施工研究部会

新規研究テーマとして、「ダム建設現場の生産性向上に向けての課題と対応（仮称）」を検討する。

6) ダム技術史研究部会

平成30年度に引き続き、ダム技術史のとりまとめ、ダム技術史上のエポックメイキングなダムの事例収集を実施する。

7) ダム貯水池課題研究部会

平成30年度の研究方針に沿って、ダム再生に係わる事業や取り組みの中から、計画・設計・施工・管理・運用等に係わる様々な課題を抽出し、これらの課題の整理と分析を実施する。その結果を踏まえ、研究テーマを検討する。

4. 2 交流研究事業

「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」、「コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究」の2テーマを継続する。

また、1テーマについて新規着手する。

1) ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究

ひび割れの生じていないダムの整理（温度応力解析に必要なデータ抽出及び品質管理データ等から強度等の物性値等の推定式の作成）を実施する。

2) コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究

コンクリートダム躯体を対象として、衝撃弾性波法による水平打継面及び鉛直打継面の一体性評価およびコンクリート表層から深さ方向の密実性に関する検討を実施する。また、UAVおよび赤外線サーモグラフィ法を用いて、ダム下流面のひび割れ調査を実施する。

平成31年度（2019年度） 収支予算

（平成31年 4月 1日～令和2年 3月31日）

報告 2

（単位：円）

収入の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1. 会費収入（①～④計）	10,950,000	11,250,000	△ 300,000	
①正会員会費	3,600,000	3,500,000	100,000	H28-H29度決算額考慮
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	250,000	250,000	0	H28-H29度決算額考慮
④賛助会員会費	7,100,000	7,500,000	△ 400,000	H28-H29度決算額考慮
2. 事業収入（①～⑦計）	2,300,000	2,255,000	45,000	
①総務小委員会収入	370,000	370,000	0	第29回通常総会 会費
②研究発表会収入	200,000	200,000	0	学術研究発表会参加費
③現地見学会収入	1,215,000	1,215,000	0	第45回現地見学会参加費 (大ダム会議と合同開催) 大ダム会議負担金除く
④講習会収入	0	0	0	講習会小委員会
⑤表彰関係収入	30,000	0	30,000	公開審査会参加費
⑥活性化推進収入	485,000	470,000	15,000	活性化推進小委員会
若手の会	150,000	150,000	0	若手技術者勉強会参加費 語りべの会参加費
ダムなんでも相談室	0	0	0	CMED会・河川整備基金補助金除く
北海道ブロック	20,000	20,000	0	ダム見学会(支部)参加費 北海道土木技術会補助金除く
東北ブロック	15,000	0	15,000	ダム見学会(支部)参加費
中部近畿ブロック	150,000	150,000	0	with Dam Night会費
中国四国ブロック	0	0	0	
九州ブロック	150,000	150,000	0	with Dam Night会費 ダム見学会(支部)参加費 九州地方計画協会補助金除く
With Dam Night 2019	0	0	0	
⑦調査研究収入	0	0	0	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	0	0	0	
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
計測管理研究部会	0	0	0	平成30年度終了
ダム技術史研究部会	0	0	0	
ダム貯水池課題研究部会	0	0	0	
交流研究連絡会議	0	0	0	
3. 刊行収入等（①～④計）	1,715,000	1,715,000	0	
①会誌一般頒布収入	360,000	360,000	0	購読会員会費
②会誌広告料	1,250,000	1,250,000	0	会誌広告料
③抜刷別刷収入	75,000	75,000	0	会誌の抜刷・カラー印刷
④その他収入	30,000	30,000	0	JST特許料・学術著作権複写
4. 図書出版事業収入	30,000	30,000	0	フィルダムの変位計測に関する GPS利用マニュアル、ダムの科学
5. 雑収入（①～②計）	1,671,000	1,051,000	620,000	
①補助金収入	1,670,000	1,050,000	620,000	大ダム会議負担金(¥50,000) CMED会(¥200,000) 河川整備基金(¥520,000) 北海道土木技術会(¥100,000) 九州地方計画協会(¥800,000)
②受取利息	1,000	1,000	0	銀行利息
小計（1～5計）	16,666,000	16,301,000	365,000	
6. 前年度繰越金	16,425,957	14,569,482	1,856,475	
合計（小計+6）	33,091,957	30,870,482	2,221,475	

(単位：円)

支出の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	10,745,000	10,105,000	640,000	
①研究発表会支出	900,000	810,000	90,000	学術研究発表会小委員会
②現地見学会支出	1,400,000	1,315,000	85,000	現地見学会小委員会 (大ダム会議と合同開催)
③講習会支出	250,000	250,000	0	講習会小委員会
④表彰関係支出	1,340,000	1,150,000	190,000	表彰・選考委員会 公開審査会
⑤広報支出	90,000	90,000	0	広報小委員会(ホームページ管理費)
⑥活性化推進支出	5,660,000	5,110,000	550,000	活性化推進小委員会
若手の会	1,500,000	1,350,000	150,000	若手技術者勉強会 語りべの会経費
ダムなんでも相談室	920,000	650,000	270,000	ダムなんでも相談室 経費
北海道ブロック	480,000	320,000	160,000	ダム見学会(支部) 経費
東北ブロック	450,000	450,000	0	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
中部近畿ブロック	490,000	580,000	△ 90,000	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
中国四国ブロック	300,000	290,000	10,000	with Dam Night 経費
九州ブロック	1,270,000	1,270,000	0	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
With Dam Night 2019	250,000	200,000	50,000	with Dam Night 経費
⑦調査研究支出	1,105,000	1,380,000	△ 275,000	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	200,000	200,000	0	現地調査等 経費
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	80,000	100,000	△ 20,000	現地調査等 経費
維持管理研究部会	65,000	70,000	△ 5,000	現地調査等 経費
施工研究部会	50,000	50,000	0	部会 経費
計測管理研究部会	0	160,000	△ 160,000	平成30年度終了
ダム技術史研究部会	10,000	100,000	△ 90,000	部会 経費
ダム貯水池課題研究部会	100,000	100,000	0	部会 経費
交流研究連絡会議	600,000	600,000	0	交流研究補助金3テーマ分
2. 刊行支出	4,300,000	4,400,000	△ 100,000	
①会誌作成費	4,300,000	4,400,000	△ 100,000	発送料・抜刷別刷料含む
3. 図書出版事業支出	0	0	0	
4. 事務支出 (①～⑪計)	2,000,000	2,090,000	△ 90,000	
①会場費	400,000	400,000	0	第29回総会 経費等
②会議費	680,000	680,000	0	第29回総会 経費等
③印刷製本費	210,000	300,000	△ 90,000	第29回総会 経費等・ パンフレット作成費
④諸謝金	200,000	200,000	0	ダム工学 巻頭言・査読料
⑤消耗品費	0	0	0	
⑥通信費	100,000	100,000	0	会費請求書 送付等
⑦支払手数料	60,000	60,000	0	WEBバンク・口座振替手数料
⑧旅費交通費	0	0	0	
⑨コンサルタント料	170,000	170,000	0	会計顧問報酬 登記役員変更手続き代行料
⑩雑費	150,000	150,000	0	ダム日本購読料, 日本工学会会費 防災学術連携体会費
⑪源泉徴収費	30,000	30,000	0	諸謝金に対する源泉徴収
5. 予備費支出	100,000	100,000	0	
小計 (1～5計)	17,145,000	16,695,000	450,000	
6. 繰越金	15,946,957	14,175,482	1,771,475	
合計 (小計+6)	33,091,957	30,870,482	2,221,475	